

やべつていきっしょうあん きゅうこめたにぎんこうあたかしてん  
まつ家別邸吉祥庵（旧米谷銀行安宅支店）

種 別	国登録有形文化財 建造物
登録年月日	令和元年9月10日
所 在 地	安宅町

小松市の北部、梯川河口の旧安宅町に位置する北近代和風建築である。明治24年（1891）に、北前船主であった米谷半平家が別邸として建築し、明治26年（1893）の米谷銀行創業にあたり安宅支店として改修され、長期にわたり使用された。平成元年（1989）に北國銀行の研修施設に改修され、現在は料亭の別邸として活用されている。

通りに西面して建ち、切妻造り、赤色の棧瓦葺きの木造平屋建て建物である。北面に角屋で玄関を設け、正面に銅板葺きの下屋を出している。

内部は改変があるが、南面土縁続き間の座敷に当初の姿を残している。銀行当時、玄関は出格子となっている箇所には設けられていた。

建物外観の出格子や下見板張りなどは、創建時の特徴をよく残しているといえ、船主集落の景観を形成する貴重な建物である。



まつ家別邸吉祥庵（旧米谷銀行安宅支店）